

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	認知症地域ケア研修事業	会計	一般会計	事業No.	203	施策順No.	35-014
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-4-13-9		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			介護高齢課		
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	21	終了	22	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・認知症のケアに携わる地域包括支援センターや介護サービス事業所等の専門職						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	認知症に対する理解を向上させ、認知症の人のケアの質の向上を図る							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		認知症に関わる事業所等の数			77	80	80		
		研修に参加した事業所／研修への参加を呼びかけた事業所 参加率			58.2	60	68.3	60	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	多くの事業所に研修に参加してもらうことができた								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地域において認知症の人のケアに携わる地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護サービス事業所の職員に対して、医師等の専門職による医療・介護・福祉に関する研修を実施する。 平成23年度から「認知症対策連携強化事業」に統合		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	地域において認知症の人のケアに携わる地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護サービス事業所(訪問介護・通所介護・小規模多機能)の職員を対象に、介護・福祉に関する研修の実施 各施設1名程度が参加、3日間の研修を開催	1 参加事業所数 2 参加人数	1 41事業所 2 53人
23年度実施計画	認知症対策連携強化事業に含まれる		

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 国及び県で事業費の3/4を補助 認知症地域ケア研修事業補助金	
	一般財源	県支出金	90	90			
		起債					
		その他					
		計 (A)	121	120	0		
正規職員所要時間							
臨時職員等所要時間							
人件費計 (B)			0				
トータルコスト A+B			120				

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせている高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	認知症の人の介護や支援に携わる人に対して認知症に対する理解を深める研修を実施することで、地域全体で認知症の人のケアの質を向上させ、高齢者が安心して暮らせる環境の向上に貢献した。
	後期に向けた課題	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	地域包括支援センターや介護事業者に研修への参加を呼びかけ、介護に携わる人の認知症に関する知識の向上に努めた。
	後期に向けた課題	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	
	後期に向けた課題	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	研修への受講を促すために、受講者には、負担を求めている。
	後期に向けた課題	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①地域の介護事業者、研修に参加し認知症の人のケアについて理解を深める、②研修の場を提供し、研修の受講を呼びかけた
	後期に向けた課題	
全体を通じて	4年間の振り返り	認知症の人の介護や支援に携わる人に対して認知症の人へのケアに関する研修を実施することで、地域全体で認知症の人のケアの質を向上することにつながった。
	後期に向けた課題	継続して研修を実施し、認知症の人のケアに携わる人の認知症に対する理解を深めることが必要である。

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------